

町の総合・長期的な新計画づくりに着手

新めいわ創造プラン策定懇談会設立

新めいわ創造プラン策定懇談会設立会議が7月19日、中央公民館で開かれました。

同プランは、町の第5次総合計画および将来の都市づくりの指針となる都市計画マスタープランを一体的に策定する計画で、平成17年度からスタートするものです。このプランは、総合計画が10年間で、都市計画が20年間で目標としています。

会議では公募委員をはじめ、議会

議員、地元有識者、区長会、各種団体代表者など51人が齋藤町長から委嘱され、懇談会の会長に江原助役を選出しました。

今回のプラン策定にあたっては、多くの町民のかたおよび町職員の参画のもとに「ワークショップ方式」を導入し、自分たちの手で創り上げた実感をもてる計画づくりを目指します。

今後、懇談会では、住民アンケート調査を反映しながら、意見や提言を求めて町の将来像や骨子などの素案を作成し、両計画とも平成16年度末までに策定していく計画です。



懇談会設立会議であいさつする齋藤町長

ワークショップとは…

従来型の会議の欠点をカバーし、参加の楽しみを増す工夫によりプラス思考に変えることを出発点として運営するものです。遊びの要素を取り入れた創造行為と合意形成が特徴で、だれもが意見を言いやすい利点があります。

企画課

内線340

上下水道料金等検討委員会発足

利用者など10人で組織

町では、第1回上下水道料金等検討委員会を7月2日に役場会議室で開きました。

同委員会は、町長の諮問機関で上下水道料金等の設定に関して、民意の反映とその決定経過の透明性を確保するため発足。会議は原則的に公開制を採用し、検討事項も広報等で情報公開するものです。齋藤町長から委嘱された委員は、町議会代表者や区長会代表者、上下水道利用者、知識経験者の10人で組織され、会長に江原助役を選出しました。



発足した町長の諮問機関の検討委員会

会議では、上水道事業の概要や近隣市町の下水道受益者負担金・下水道使用料などの説明が行われました。今後は、上下水道料金等の答申に向けて審議検討をしていく予定です。

諮問事項（抜粋）

上下水道料金および下水道事業の受益者負担金の検討について

● 上下水道料金の検討

町の上下水道事業の健全な運営を確保するため、能率的な経営の下における適正な原価を基礎とし、公平妥当な上水道料金および下水道料金の設定について検討いただくとともに検討委員会の意見を求めます。

● 公共下水道の

受益者負担金の検討

町では、下水道が整備され下水道の恩恵を受ける人々に下水道施設建設費の一部を負担していただく考えであります。受益者負担金の賦課方法および単位当たり受益者負担金の算定にあたり検討委員会の意見を求めます。

水道課

内線371